『中国考古学論壇』開催のお知らせ

趣旨

一昨年駒澤大学、昨年広島大学にて開催された日本中国考古学会大会にてお知らせしました通り、本年 3 月２８日・２９日に北京大学にて中国考古学の研究発表会を開催することとなりました。日本における中国考古学の研究成果を中国考古学者に披露するとともに、議論することにより、さらに我々の研究を深める目的からです。

日本における中国考古学研究は古くから高い水準の中にあって中国考古学研究を牽引してきた歴史があります。しかし、今日、中国での考古学資料の増加や新発見あるいは中国での考古学研究の発達によって、日本における中国考古学の成果が中国において注目されなくなってきました。今、私たちは自らの研究成果を中国において公表し、中国の研究者と議論することにより、中国考古学研究へ再び貢献をなす時期に来ていると思われます。日本側は１２件の発表を予定しておりますが、より多くの会員が参加していただき、中国の研究者、特に中国の若い研究者にその成果を知っていただくとともに、学術的な交流を深めてゆくことができればと考えております。

参加ご希望の方は、学会事務局（泉屋博古館廣川守 hirokawa@sen-oku.or.jp）まで御連絡ください。

日時：２０１５年3月２８日・２９日
場所：北京大学考古楼多功能厅（A101）
費用：自費
日本側発表

1．飯島武次（驹泽大学名誉教授） “日本中国考古学会”创立的历史
2．角道亮介（駒澤大学） 试论陕北地区商末周初的青铜器
3．田畑 润（日本中国考古学会会员） 论商周之际青铜器随葬行为与其展开
4．山本尭（東京大学大学院人文社会系研究科） 再论周代长江中游青铜兵器
5．石谷慎（京都大学大学院） 关于春秋战国时期蟠螭纹和羽状纹之间的关系—以中原地区和华中地区为中心
6．菊地大樹（京都大学人文科学研究所） 中国古代马的饲养和生产体制
7．齋藤希（九州大学大学院人文科学府博士後期課程）・徳留大輔（山口県立萩美術館・浦上記念館主任学芸員） **中国黄河流域中上游史前房址的研究—关于新石器时代中期到青铜器时代的地域间交流—**
8．松本圭太（九州大学総合研究博物館） 公元前 2 千年纪欧亚草原地带与“北方系青铜器”
9．宫本一夫（九州大学大学院人文研究院） 从川藏石棺葬看北方青铜器与西南青铜器的关系
10．佐川正敏(日本・东北学院大学)・今井晃树(日本・奈良文化财研究所),朱 岩石(中国社会

科学院考古研究所） 中国南北朝以后各种瓦类的演变和技术改革与其对周边地区的影响

11．向井佑介（京都府立大学文学部） 魏晋南北朝時期工匠的考古学研究

12．森達也（愛知県陶磁美術館） 元明清外销瓷的窑口与输出港口的变迁